

公務員の試験制度 & 攻略法

□受験資格

公務員試験の行政事務職の受験資格は、概ね**年齢と国籍要件のみ**です（一部試験では学歴要件あり／警察官・消防官は身体要件あり）。出願すれば誰でも受験することができ、**学歴・職歴・性別・年齢などによる有利不利はありません**。

つまり、筆記試験と人物試験の総合評価で合否が決定される、**公平公正な就職試験**と言えます。

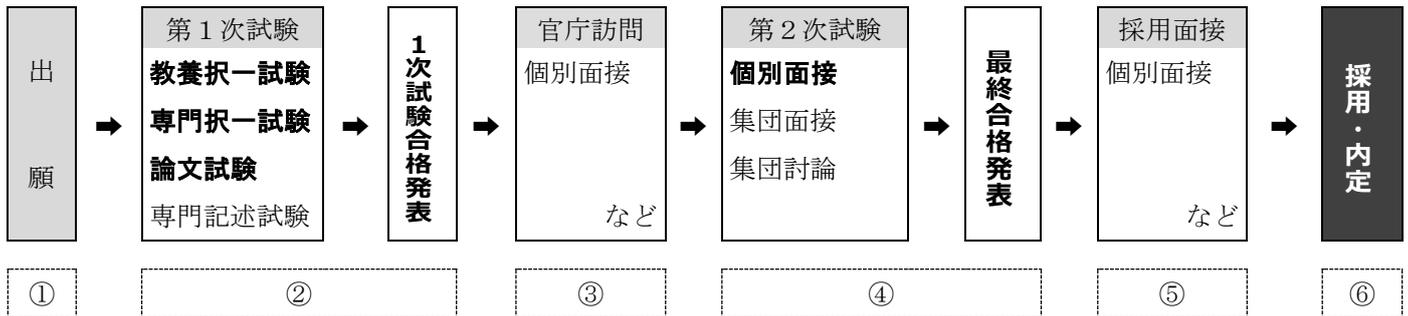
受験資格例
参考：令和4年度 特別区I類（事務）
日本国籍を有する人で、次の年齢要件に該当する人
★平成3年4月2日から平成13年4月1日までに生まれた人

Point

- 今自分が持っている知識や学力ではなく、これからの努力が公務員試験の合否に直結する。
- 受験資格は各職種・自治体ごとに異なるので、受験する際は最新の試験情報を要確認。
- 公務員試験＝就職試験のため、年齢要件は年度により変更になる場合があるので最新情報を要チェック。
- 規模の小さな市役所などは、年齢要件の他に住所要件などが設けられている場合がある。
- 資格免許職の場合は、“資格取得者or翌年3月までに取得見込みの者”となっている場合が多い。

□公務員試験のしくみ

一般的な公務員試験の流れ



①出願(4月頃～順次)

2～5月頃にその年の試験案内が、自治体・職種ごとにHPにて公表され、**4月から受験申込受付がスタート**します。近年、インターネットによる受験申込受付が主流です。

②第1次試験

筆記試験として**教養択一・専門択一・論文試験**が実施されま
す。専門記述は東京都・裁判所一般職・国税専門官・財務専門
官・労働基準監督官など、一部試験種のみで実施されます。

③官庁訪問(国家一般職)

国家一般職は、「最終合格＝採用」ではありません。1次試験合格発表後に、人事院が実施する2次試験（個別面接）とは別に、官庁ごとに実施される「**官庁訪問**」を経て内々定を得る必要があります。

④第2次試験

第1次試験合格者を対象に、**人物試験として個別面接**などが実施され、**志望理由や自己PR**に関する質問がなされます。**個別面接はほぼ全ての公務員試験で**、集団面接・集団討論は地方上級や市役所などで実施される傾向にあります。

⑤採用面接(意向確認)

最終合格者を対象に、主に個別面接が実施され、意思確認が行われます。**併願状況や複数の試験に合格した場合はどうするか**などが問われます。

⑥採用・内定

原則として、翌年の4月1日からの採用ですが、既卒者・社会人は、10月から採用されるケースもあります。

※上記は、一般的な公務員試験のモデルケースです。試験実施時期や試験の内容は、自治体・試験種・年度により異なる場合がありますので、受験の際は必ず最新の試験案内をご確認ください。

第1次試験日 ～併願受験で万が一のリスクを回避～

令和4年度 ★2/1 現在判明分		
4月	24日(日)	国家総合職
5月	1日(日)	東京都I類B 特別区I類(東京23区)
	7日(土)	裁判所一般職(大卒)
	8日(日)	東京都I類A 警察官(5月)
6月	5日(日)	国税専門官 財務専門官 労働基準監督官 食品衛生監視員 皇宮護衛官 航空管制官 法務省専門職 海上保安官(大卒)
	12日(日)	国家一般職(大卒)
	19日(日)	地方上級(県・政令指定都市)
7月	10日(日)	市役所B日程
9月	18日(日)	市役所C日程

★令和4年度日程は、2022年2月1日時点での判明分です。

令和2年度		
4月	25日(日)	国家総合職
5月	1日(土)	参議院事務局総合職
	2日(日)	特別区I類(東京23区) 東京都I類B
	8日(土)	裁判所一般職(大卒) 自衛隊一般幹部候補生①
	9日(日)	東京都I類A 警察官(5月)
	15日(土)	衆議院事務局一般職(大卒)
	16日(日)	北海道一般行政A(第1回) 大阪府行政
	6月	6日(日)
	13日(日)	国家一般職(大卒)
	20日(日)	地方上級(県・政令指定都市) 市役所A日程
	26日(土)	自衛隊一般幹部候補生②
7月	4日(日)	国立大学法人等
	11日(日)	市役所B日程
9月	19日(日)	市役所C日程 警察官(9月)
	26日(日)	北海道一般行政A(第2回)
10月	24日(日)	神奈川県(秋季チャレンジ)

※上記は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止による変更前の日程です。詳細は、人事院・各自治体のHPをご確認ください。

※第1次試験日は、変更になる場合があります。受験の際は必ず最新の試験案内をご確認ください。

Point

- 例年、5～6月の週末(土日)を中心に、第1次試験日が設定されている。
- 第1次試験日が重なっていなければ、いくつでも併願受験してOK!
- 多くの合格者は、万が一のリスクを回避するために、3～5つ程度の試験種を併願受験している。
例(行政事務): 特別区I類、裁判所一般職、国税専門官、国家一般職、地方上級、国立大学法人等 など
- 専門試験対策をすることで、5～6月の採用人数が多い試験種をメインターゲットにしておきたい。

試験種別試験形態

行政事務	国家公務員			地方公務員					法人
	国家一般職 (大卒)	国税専門官 財務専門官 労働基準監督官 A	裁判所一般職 (大卒)	東京都 I類B (一般方式)	特別区 I類 (東京23区)	地方上級 (県・政令市)	市役所 教養+専門型	市役所 教養型 警察官・消防官	国立大学 法人等
教養択一	●	●	●	●	●	●	●	●	●
専門択一	●	●	●	—	●	●	●	—	—
論文	●	—	●	●	●	●	●	●	—
専門記述	—	●	●	●	—	一部あり	—	—	—
面接	●	●	●	●	●	●	●	●	●
集団討論	官庁訪問	—	—	—	—	●	一部あり	一部あり	一部あり

※試験制度は変更になる場合があります。受験の際は必ず最新の試験案内をご確認ください。

「●」=実施あり 「—」=実施なし

Point

- 教養択一・専門択一・論文試験対策をしておけば、採用人数が多い試験種を幅広く併願できる。
- 最低限の学習時間で目指したい場合は、専門試験が課されない市役所(教養型)や国立大学法人等をメインターゲットにするのもありだが、主に市役所(教養型)は採用人数が少ない傾向にある点には注意。
- 一部の試験種で課される専門記述試験の対策のベースは、専門択一試験対策。
専門択一試験対策を万全にして、プラスαで必要な知識を保管することで攻略できる。

教養試験

試験種	一般知能分野					一般知識分野													合計出題数	合計解答数	解答時間					
	数的処理		文章理解			人文科学					自然科学				社会科学											
	数的推理	判断推理	空間把握	資料解釈	現代文	英文	古文	世界史	日本史	地理	思想	文芸・文化	数学	物理学	化学	生物	地学	法律				政治	経済	社会	時事	国語・英語
国家一般職	4	7	2	3	6	5	—	1	1	1	1	—	—	1	1	1	—	1	1	1	—	3	—	40	40	140
国税・財務・労基	5	6	2	3	6	5	—	1	1	1	1	—	—	1	1	1	—	1	1	1	—	3	—	40	40	140
裁判所一般職	6	7	3	1	5	5	—	1	1	1	1	—	—	1	1	1	1	1	2	2	—	—	—	40	40	180
特別区 I 類	6	5	4	4	5	4	—	1	1	1	1	—	—	2	2	2	2	2	2	—	—	4	—	48	40	120
東京都 I 類 B *	6	2	4	4	4	4	—	1	1	1	—	1	—	1	1	1	1	1	1	—	5	—	40	40	130	
地方上級全国型	5	6	5	1	3	5	—	2	2	2	—	—	1	1	2	2	1	4	1	2	5	—	50	50	150	
地方上級関東型	5	3	3	1	3	5	—	3	3	3	—	—	1	1	2	2	1	4	1	3	6	—	50	40	120	
地方上級中部・北陸型	5	6	5	1	3	5	—	2	3	3	—	—	1	1	2	2	1	3	1	2	4	—	50	50	150	
横浜市 *	17			3	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	3	1	13	—	50	50	150		
国立大学法人等	4	4	4	1	3	4	—	2	2	2	1	1	1	1	2	1	2	1	2	2	—	—	40	40	120	
警視庁警察官 I 類	6	5	4	2	6	2	—	2	2	2	2	—	—	1	1	1	1	4	2	3	4	—	50	50	120	
東京消防庁消防官 I 類	4	4	2	5	5	3	—	1	1	1	—	—	4	2	2	2	—	3	1	3	2	—	45	45	120	

*東京都 I 類 B は、行政 一般方式の情報です。
 *横浜市は、教養試験のみと受験案内にありますが、例年、専門科目(憲法・民法・行政法・経済学・財政学・経済事情・行政学・国際関係など)が、社会科学として出題されています。

※ゴシックの数字は必須解答です。

※上記は、2021 年度以前の試験情報を元に作成しています。実際の出題内容とは異なる場合があります (T A C 調べ)。

Point

- 一般知能分野は、必須解答 & 出題数が多い ⇒ 教養試験の可否を分ける重要科目。
- 一般知識分野は、1 科目あたりの出題数が少なく、試験によって問題選択解答 ⇒ 効率的な学習が必要。
- 教養試験のボーダーラインは、概ね 6 割程度 = 満点は必要ない。
- 出題科目数が多いので、出題数に応じた優先順位 (数的処理 > 文章理解 > 社会科学 > 人文科学・自然科学) に従い、学習時間や力の入れ具合を調整、すなわち学習のメリハリ付けが必要。

教養択一試験の攻略法

- 【一般知能分野】
- ☞ 数的処理・文章理解は、**解法テクニック**を習得して、**繰り返しの問題演習を積む**べき演習科目。
 - ☞ 問題を見たら、どの**公式・解法パターン**を使うかがすぐに思いつくようになることが目標。
 - ☞ 解法テクニックを学び解けるようになったら、**問題を解くスピードも意識**する。
- 【一般知識分野】
- ☞ 出題される問題レベルは概ね大学入試センター試験レベルで、典型的な**暗記科目**。
 - ☞ 1 科目あたりの出題数は少ないため、**頻出テーマに絞った効率的な学習**で攻略する。
 - ☞ 最低限広く浅く**各科目の頻出 & 基本テーマ**をおさえ、なるべく**捨て科目を作らない**ことが大切。

教養試験の約 3 ~ 4 割を占める最重要科目『数的処理』とは？

数的推理：方程式、不等式、速度算、濃度算、整数、確率 など
 判断推理：論理、集合、暗号、嘘つき問題、順序・位置関係 など
 空間把握：立体の構成・切断などの図形の観念的な問題 など
 資料解釈：表やグラフなどの資料の読み取り問題

- ✓ 問題が解けるようになるまで時間がかかる
- ✓ 繰り返しの問題演習が大切

専門試験

試験種	法律系					経済系					政治系					その他					合計出題数	合計解答数	解答時間											
	憲法	民法(総則・物権)	民法(債権編)	行政法	刑法	労働法	商法	ミクロ経済学	マクロ経済学	財政学	経済事情	経済政策	経済史	労働経済学	政治学	社会学	社会政策	国際関係	社会事情	社会保障				経営学	会計学	労働事情	英語基礎	英語一般	英語商業	情報工学	情報数学	統計学	心理学	教育学
国家一般職	5	5	5	5	—	—	—	5	5	2	3	—	—	—	5	5	5	—	5	—	—	5	—	—	5	5	—	—	—	5	5	80	40	180
国税専門官	3	6	3	—	—	2	2	2	6	2	—	—	—	3	—	2	—	—	1	—	6	8	—	—	6	6	6	6	—	—	—	70	40	140
財務専門官	6	5	8	—	—	1	5	3	4	2	—	—	—	3	—	3	—	—	—	—	6	6	—	—	6	—	6	6	—	—	—	76	40	140
労働基準監督官A	4	5	4	3	7	—	4	5	—	4	—	—	3	—	—	2	—	—	—	2	—	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	48	40	140
裁判所一般職	7	13	—	10	—	—	5	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40	30	90	
特別区I類	5	10	5	—	—	—	5	5	5	—	—	—	—	5	5	5	—	—	—	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	55	40	90
東京都I類B	【専門記述】憲法・行政法・民法・経済学・財政学・政治学・行政学・社会学・会計学・経営学の10題から3科目選択解答																										10	3	120					
地方上級全国型	4	4	5	2	2	—	5	4	3	—	—	—	—	2	2	—	3	2	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40	40	120
地方上級関東型	4	6	5	2	2	—	8	4	4	—	2	1	—	2	2	—	3	3	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50	40	120
地方上級中部・北陸型	5	7	8	2	2	—	6	2	4	2	2	—	—	2	2	2	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50	40	120

※ゴシックの数字は必須解答です。

※上記は、2021年度以前の試験情報を元に作成しています。実際の出題内容とは異なる場合があります（TAC調べ）。

※東京都I類Bは、行政一般方式の情報です。

Point

- 法律系、経済系、政治系の3分野を中心に、大学の専門課程レベルの問題が出題される。
- 各科目の専門家になるのではなく、正解法を選び出すために必要な知識を身につけることが最終目標。
- 専門試験のボーダーラインは、概ね7割程度 = 満点は必要ない。
- 試験種により出題科目が異なり、出題科目数が多いので、出題数に応じた優先順位に従い、学習時間や力の入れ具合を調整、すなわち学習のメリハリ付けが必要。

専門択一試験の攻略法

- 【重要科目】
- ☞ 出題数の多い**憲法、民法、行政法、ミクロ経済学、マクロ経済学、政治学**の学習が最優先。
 - ☞ 科目ごとに**学習内容がリンク**しており、法律系は**憲法→民法→行政法**、経済系は**ミクロ経済学→マクロ経済学**、政治系は**政治学→その他の科目**の順番で学習すると**効率的な学習**になる。
- 【選択科目】
- ☞ 重要科目以外は、志望先での出題の有無を確認して、**必要な科目だけを選択学習**すればOK。
 - ☞ 併願先を選ぶ際に**第一志望で出題される科目で受験できる試験種**を選ぶと**学習負担が軽くなる**。
 - ☞ 科目の優先順位は出題数に呼応する = **出題数の多い科目を優先的に学習**する。
- 【専門記述対策】
- ☞ まずは各科目の**択一試験対策を完成させてから**、各科目の頻出テーマの記述対策をする。
 - ☞ 試験種ごとに**出題傾向が異なる**ため、過去問の**傾向に合わせた対策**をする必要がある。

参考：民間志望者でも目指せる新区分が増加中

東京都I類B（行政・新方式）や神奈川県（行政・秋季チャレンジ）など、専門試験は行わずに、自己PRシートやプレゼンテーション試験を実施する新区分が、近年増加しています。新区分は、一般枠に比べると採用人数は少なく倍率は上がりがちですが、受験のチャンスが広がっているという観点では受験生にとって朗報と言えます。

例：東京都I類B（行政・新方式）

- 【1次】教養試験、プレゼンテーションシート作成
- 【2次】プレゼンテーション、個別面接
- 【3次】グループワーク、個別面接

□論文試験

社会・経済問題などの一般的な課題について、自分の考えを手書きで論述することが求められます。解答時間は概ね60～80分程度、文字数は800～1,200字程度で、与えられた課題に**的確に答え、自分なりの考えやアイデアも盛り込んだ**論理的な文章が書けるかが試されています。

出題例：令和3年度 特別区I類（事務） 論文2

国際目標である「持続可能な開発目標(SDGs)」では、持続可能な生産消費形態を確保するため、天然資源の持続可能な管理や効率的な利用をめざすことが必要であると示されています。

特別区においてもその目標達成に向けた一層の取組が求められており、食品ロスや廃棄物の削減を進めていくことが重要です。

このような状況を踏まえ、ごみの縮減と資源リサイクルの推進について、特別区の職員としてどのように取り組むべきか、あなたの考えを論じなさい。

Point

- 出題テーマは、各種白書や統計資料を元にしたものや各自治体が抱える課題に対して、自分の考えを述べさせるものが多く、問題文の最後に「・・・あなたの考えを述べなさい。」と指示がある場合が多い。
- 文章の書き方や答案構成の組み立て方はもちろん、普段から新聞やニュースなどに興味を持ち、社会問題や時事に触れておくと、論文のネタ集めや面接対策にもなる。
- 論文の評価はA～Eの5段階。C評価以上が安定的に取れるようになれば、合格レベルと言える。

論文試験の攻略法

- 【①講義を受講】 ② まずは講義で、**予想テーマ・基本的な文章の書き方・ネタ集めの方法**などを学ぶ。
- 【②実際に書く】 ② 予想テーマについて、自分なりに**答案構成を練り論文を書いて答案添削を繰り返し**受ける。
- 【③改善する】 ② 何度も添削を受けて**改善**を図り、予想テーマごとの**自分なりの模範答案をストック**する。

Column

配点比率

Q. 教養・専門・論文…どれを最優先で勉強するべきですか？

判断材料は、試験案内等で公表されている『配点比率』です。

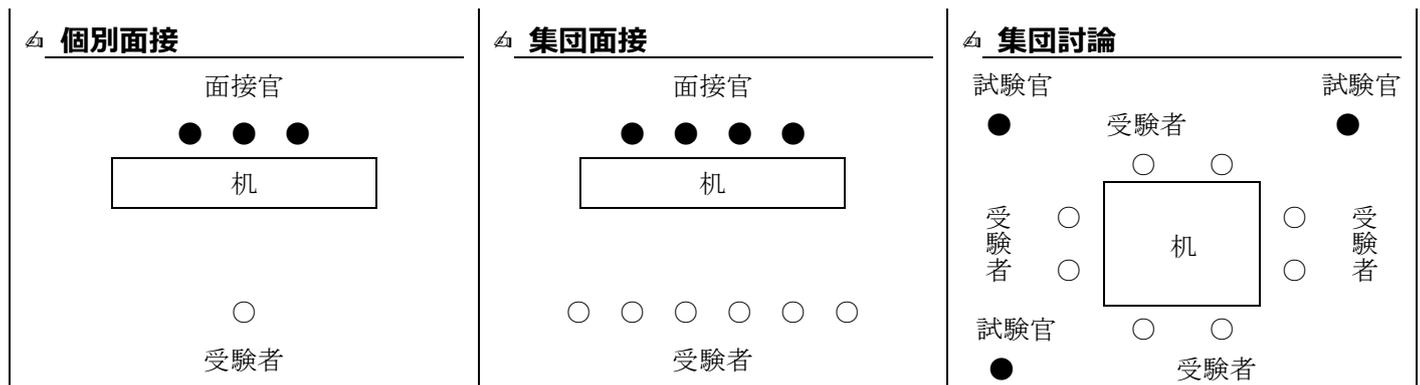
国家一般職（大卒）の配点比率を見ると、専門択一試験の配点は基礎能力試験（教養択一）の2倍であることがわかります。つまり、専門択一試験の得点効率は、基礎能力試験（教養択一）の2倍・・・当然、基礎能力試験（教養択一）よりも専門択一試験対策を優先するべきということになります。

一方で、地方公務員の場合は筆記試験：人物試験＝3：4になっていますから、面接に力を入れなきゃ！と思いがちですが、ちょっと待って！公務員試験は、第1次試験（筆記）合格者だけが第2次試験（人物）に進める・・・つまり、第1次試験（筆記）対策が最優先であるということになります。

国家一般職（大卒・行政）			
基礎能力	専門択一	論文	面接
2	4	1	2
筆記試験重視の傾向			

地方公務員（例：埼玉県）			
教養択一	専門択一	論文	面接
1	1	1	4
人物試験重視の傾向			

□第2次（人物）試験 ～過去の情報を元にした的を射た対策で攻略！～



Point

- 個別面接は、ほぼ全ての公務員試験の2次試験以降のどこかの段階で必ず実施される。
- 内容は『志望理由』と『自己PR』が問われる一般的な就職面接で、面接の倍率は民間よりも格段に低い。
- 人物試験重視の試験が増えているが、過去の情報に基づき“的を射た対策”をしておけば怖くない！
- 民間就活経験がある大学4年生・既卒者・社会人は、人物試験対策において就活経験を活かせる！

面接試験の攻略法

- 【①講義を受講】 講義で面接作法、面接カードの書き方、よくある質問への対応方法などを学ぶ。
- 【②情報収集】 面接復元シートで志望先の面接の質問事項・雰囲気・形式などの情報を入手し、想定問答を準備。
- 【③実践練習】 回数無制限の模擬面接や受講生同志の面接練習で場数を踏み、面接に慣れる。
 - ▶ 模擬面接：復元シートを元にした質問事項での面接練習を繰り返し、徹底的に個別指導。
 - ▶ 面接練習：同じ志望先の受講生同志で集まり、受験者役と面接官役を交互に担当して練習。